



2005年12月22日

報道関係各位

ル・コルドン・ブルー・パリ株式会社
広報担当 篠原みどり

ル・コルドン・ブルーと早稲田大学大学院商学研究科が共同で
グローバル・サービスビジネス・モジュールを設置

ル・コルドン・ブルー・パリ株式会社（代表取締役 フランソワ・コラ 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町28-13 ROOB-1）は、このたび、Le Cordon Bleu 社（所在地：フランス共和国 パリ市、会長：アンドレ・J・コアントロ）が学校法人早稲田大学（所在地：東京都新宿区、総長：白井克彦）大学院商学研究科（研究科長：太田正孝）と共同で、2006年4月より「グローバル・サービスビジネス・モジュール」を同研究科に設置することをご案内申し上げます。早稲田大学大学院商学研究科が企業と共同でモジュールを設置するのは、今回が初めての試みとなります。

ル・コルドン・ブルーは、1895年パリに創立、以来1世紀以上の年月をかけ「最高のものは、たゆまぬ研鑽と向上心によってのみ得られる」という哲学のもと、パリの料理学校から、数ある教育機関の中でも料理・ホスピタリティ教育における世界的なリーダーとして認められるまでに発展、現在では世界15カ国に26の学校があり、年間18,000人、70カ国を超える国籍の生徒が集う、ユニークで多文化的な環境を醸成しています。

近年では、ル・コルドン・ブルーはサービス・ホスピタリティ産業に特化した極めてユニークなMBAプログラムを開発、世界各国の大学との提携でオーストラリア、フランス、メキシコ、韓国などで、国際的なホテル・リゾート業界、レストラン&ケータリング業界、イベントビジネスにおいて活躍できる優れたマネジメント能力を備えた人材の育成に貢献してきました。

日本においても、早稲田大学との提携により、ダイナミックで現場に即したカリキュラムのもと、確固たる知識と国際的な視点を持ち、強い意思決定能力、チーム統率力と高いリーダーシップを備えたホスピタリティ産業における真のプロフェッショナルの育成を目指します。

以下は早稲田大学大学院商学研究科より発表されているモジュールの設置概要です：

1. モジュール設置の背景と目的

21世紀は、先進国GDPの7割を占めるサービスビジネスが本格的なグローバル競争に突入する時代だといわれています。他方、企業の国際化に関する既存研究のほとんどは、製造ビジネスを対象としたものに留まっているのが現状です。その理由は、グローバル化圧力が強い製造ビジネスに比べて、サービスビジネスは各ローカルの文化、価値、知識など「見えざる資産」の影響をより強く受けるからです。

こうしたグローバル競争の現実と国際ビジネス研究のギャップを解消したいとする早稲田大学商学研究科と、その構想に賛同したLe Cordon Bleu社が2006年4月よりサービスビジネスの国際化に焦点を定めた「グローバル・サービスビジネス・モジュール」を開設(詳細は別紙)する運びとなりました。サービスビジネス特有の国際化プロセス、ならびにその主役を担うサービス多国籍企業の組織と戦略について独創的な視点とアプローチで研究することで、21世紀グローバル競争にフィットしたビジネス・モデルを受講者と共同で探求するとともに、日本のサービスビジネスの将来を担う優れたグローバル・マネージャーの育成を目指します。

モジュールとは：早稲田大学商学研究科プロフェッショナル・コースが提供するユニークな教育システムであり、2年間で完結するモジュールが毎年5～7つ開設される。MBA必須のコア科目を設置すると同時に、定テーマに関わる選択専門科目(モジュール科目)をモジュールごとに5科目程度グループ化して設置することにより、高い専門性を持ったMBA教育を行います。

2. 対象となる学生

サービスビジネスにおける国際的な職務経験を有する学生、または今後そうした分野におけるグローバル・マネージャーとなることを目指している学生を歓迎します。英語による専門科目が複数あるため、それらの科目の履修を希望する学生は、TOEICで700点以上、TOEFL(CBT)では150点以上のスコアあるいはそれに相当する英語コミュニケーション能力を有することを望みます。

「グローバル・サービスビジネス・モジュール」の具体的内容については、別紙をご参照ください。

より詳しい資料、写真等のご請求、この件に関してのお問い合わせは、
ル・コルドン・ブルー日本校 広報担当 篠原みどり まで
TEL. 03-5489-0143 FAX. 03-5457-2722
mshinohara@cordobleu.edu

「グローバル・サービスビジネス・モジュール」の具体的内容

特徴

世界 15 カ国におけるサービスビジネスの成功実績とサービスビジネス関連の MBA プログラムを積極的に展開している Le Cordon Bleu 社のノウハウを活用することで、サービスビジネスの国際事業活動に関する最新かつ洗練された知識とケースを学習できる。

グローバル・マネジャーとしての資質を高めるために、グローバルビジネスの基礎理論、多国籍企業の組織と戦略に関する諸理論を、講義とケース/ディスカッションの比率がバランス良く取れた少人数授業で学習するとともに独創的な問題発見能力、精緻な分析能力、冷静な意思決定能力、卓越したコミュニケーション能力を総合的に開発していく。

グローバル・サービスビジネスにおいては、マネージャーは高度な異文化適応力および英語によるタフな交渉力が要求される。そこで講義として「異文化マネジメントコミュニケーション」を設置するとともに、同社の英語ネイティブ客員教員が 2 科目を英語で担当する。

各種サービスビジネス企業のシニアマネジャーを授業に招聘し、これらゲストによる講義ならびに質疑応答とグループ・ディスカッションからなるフォーラムを随時開催する。

2 年目には各自のキャリアプランに即した修士論文を作成し、グローバル・サービスビジネスに関する問題発見能力、状況分析能力、表現能力の向上に努める。また、グローバル・サービスビジネスの現場を理解するために、パリの Le Cordon Bleu 社本部ならびに海外ビジネススクールでのセミナーなどを盛り込んだ海外研修ツアーを予定している。

モジュール専門科目（2006 年度）

2006 年度開講科目	担当者
グローバルビジネス理論（春、2 単位）	長谷川信次（早稲田大学）
サービス MNCs の組織と戦略（春、2 単位）	高井 透（日本大学）
Strategic Management and Service Excellence （秋、2 単位、集中講義）	Le Cordon Bleu が派遣する客員教授
ホスピタリティ・マネジメント（秋、2 単位）	中村 清（早稲田大学） 長谷川恵一（早稲田大学）
グローバル・サービスビジネス演習 （春・秋、計 4 単位）	江夏健一（早稲田大学） 太田正孝（早稲田大学）